

# 川口市交通体系将来構想

～ 選ばれるまちを支える交通のあり方 ～

平成 29 年 3 月  
川 口 市

## あいさつ



少子高齢化や自動車社会の更なる進展に加え、自動車の安全技術の普及など、交通に関わる社会経済状況も大きく変化しつつあります。

そのような中、本市においても、慢性的に交通渋滞が発生している地域や交通不便な地域が存在するなど多くの課題を抱えております。

市民の移動を支えるバスや道路は、市民生活や地域活動及び産業活動を支える重要な基盤であり、交通に関する課題の解決を図るべく、様々な対策を戦略的かつ着実に実施していく必要があります。

このため、平成28年策定の『第5次川口市総合計画』の中に「交通の安全を確保するとともに、誰もが安心・快適に移動できる交通ネットワークを構築し、まちの活性化や地域活力の向上に寄与する交通環境を整備します」と基本方針の一つとして位置づけるとともに、同年策定の『川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略』においても、交通利便性の向上を図ることにより、市内外の人々に居住先として選ばれるための環境整備を進めていくこととしました。

『川口市交通体系将来構想』では、これらの上位計画を踏まえつつ、同時期に並行して改定を進めた『川口市都市計画基本方針』と相互に連携を図っており、将来のまちの構造や道路網のあり方を見据えながら、本市が目指すべき交通体系の将来構想や基本的な方針に加え具体的な取り組みについて決めました。

今後は本構想に基づき、関連する各種対策を着実に推進して参ります。

結びに、本構想の策定にあたり、専門的見地からご尽力を賜りました交通体系将来構想検討委員会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提案を頂きました多くの市民の皆様に、心より御礼申し上げます。

平成29年3月

川口市長 奥ノ本信夫

# 川口市交通体系将来構想

## 目次

<b>1. 交通体系将来構想とは</b>	<b>1</b>
(1) 交通体系将来構想策定の目的	2
(2) 交通体系将来構想の位置づけ	3
(3) 交通体系将来構想の役割	8
(4) 交通体系将来構想の目標年次	8
(5) 交通体系将来構想の基本構成	9
<b>2. 川口市の概況</b>	<b>11</b>
(1) 人口	12
(2) 産業	16
(3) 土地利用	17
(4) 交通ネットワーク	18
(5) 川口市の概況のまとめ	23
<b>3. 人の移動の実態</b>	<b>25</b>
(1) 分析の概要	26
(2) 全体的傾向	27
(3) 年代別の特徴	29
(4) 移動目的別の特徴	33
(5) 今後の見通し	41
(6) 人の移動の実態のまとめ	43
<b>4. 交通の実態</b>	<b>45</b>
(1) 自動車	46
(2) バス	55

(3) 自転車	60
(4) 歩行者	62
(5) 交通の実態のまとめ	65
<b>5. 概況及び実態を踏まえた課題の整理</b>	<b>67</b>
(1) 道路ネットワークのあり方に関する課題	68
(2) バスネットワークのあり方に関する課題	69
(3) 鉄道駅周辺の交通環境に関する課題	71
(4) レクリエーション拠点等への交通に関する課題	71
<b>6. 本市の将来の交通体系</b>	<b>73</b>
(1) 都市交通の目標	74
(2) 将来の交通体系の基本方針	75
(3) 将来の交通体系の全体方針	80
<b>7. 目標達成に向けた取り組み</b>	<b>81</b>
(1) 取り組みの全体像	82
(2) 各取り組みの内容	83
(3) 取り組みの実施時期	91
<b>8. 今後の進め方</b>	<b>95</b>
(1) 今後の検討の流れ	96
(2) P D C Aサイクルの点検・評価	98
(3) 推進体制	99